

「救急・総合診療科」10月に開設

2つの部門が合同で診療

他科との連携強化、円滑に治療

総合南東北病院は、10月から「救急・総合診療科」を開設します。臓器別の専門外来ではなく、どのような症状の患者さんにも対応する「総合診療部門」と救急外来の中核を成す「救急診療部門」を融合した診療科です。県内でも数少ない総合診療の専門医と救急・集中治療の専門家がチームを組んで、患者さんの立場に立った治療を行います。

救急診療と総合診療の両部門の医師が共同で患者さんを診るのが最大の特徴。診断に苦慮するような疾患や複数臓器に問題がある患者さんの診断もスムーズで、適切な初期治療が行われます。また、総合診療の専門医の診断の下、必要に応じて他の専門科と連携を取り医療行為を進めます。

この診療科の開設には安定的な研修医の確保という目的もあります。内科系診療科を拡充することで、研修医教育の向上を図ります。研修医は総合診療の専門医の指導の下、“主治医感”を持って内科診断学、病棟患者管理など、医師の基本的スキルを学ぶことができます。研修医が治療に参加する場合がありますが、治療は必ず専門医の資格を持った指導医と一緒に行うので、患者さんは安心して受診することができます。

研修医教育の充実は、若手医師の継続的な確保につながることを期待されます。当院は今後も積極的に研修医の受け入れを進め、長期的な視野に立って安定した地域医療の提供に寄与したい考えです。